

坪田讓治生誕120年記念展

～「善太と三平」のふるさと岡山～



作家・坪田讓治(つばたじょうじ)は、明治23(1890)年3月3日に岡山市北区島田本町で生まれました。45歳の時に小説「お化けの世界」で注目されました、続く新聞連載「風の中の子供」は善太と三平の兄弟が活躍する話で、大人だけでなく子どもにも読まれ彼の代表作となりました。

92歳で亡くなるまでに、小説・随筆・童話・昔話など多くの作品を書き、若手童話作家の育成に努めるなど児童文学者としても活躍し、1979年には岡山市名誉市民になりました。

讓治の色紙(岡山市立中央図書館所蔵)



36歳の讓治

最初の単行本『正太の馬』出版祝いにて

2010年2月19日(金)～

3月22日(月・祝)

休館日：2月22日(月), 3月1日(月), 8日(月), 15日(月)

時 間：午前10時～午後6時

(入館は午後5時30分まで)

場 所：岡山市デジタルミュージアム5階展示室

入館料：一般300円 大学生・高校生200円

65才以上・中学生以下無料

障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方(1名)無料

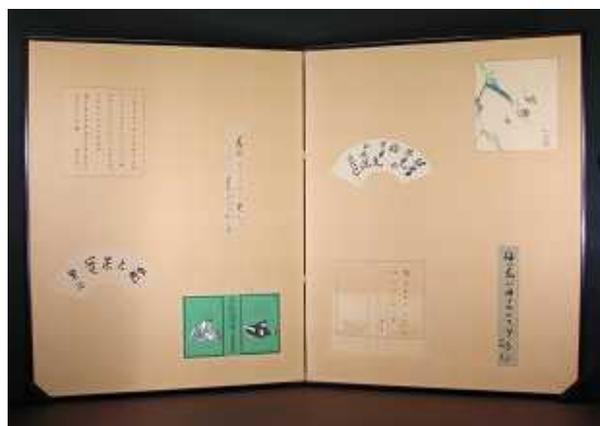
坪田讓治の原稿や愛用品、明治期の子どもの服装と遊びに関する資料で、子ども時代の体験や故郷岡山を心に作品を書き続けた作家の生涯を紹介します。

展示解説

2月20日(土), 3月20日(土)

各日 午後2時～3時

(事前予約不要、入館料が必要です。)



讓治と交流があった井伏鱒二や尾崎士郎などの色紙が貼られた屏風(岡山市立中央図書館所蔵)

主催 / 岡山市デジタルミュージアム
(電話086-898-3000)